

## ラオス昆虫食の可能性に期待！

独立行政法人国際協力機構(以下 JICA)と、NPO 法人 ISAPH(アイサップ)と NPO 法人食用昆虫科学研究会は、草の根技術協力事業 1)『農村部の食糧事情向上を目指した昆虫養殖技術普及事業』を 2020 年 12 月 25 日より開始しました。

ラオスでは、5 歳未満児の慢性的な低栄養の改善が国全体の保健課題となっています。農村部では、住民の殆どが自給自足で生活を営んでおり、栄養素のバラエティに富んだ食材を調達することが難しい状況です。解決のためには、住民の知識のみならず様々な食材へのアクセスの改善が必要である背景から、栄養価の高い昆虫食に今注目が集まっています。ラオスでは、昆虫がウシ・ブタ・トリと同様に食材として取り扱われ、文化的背景を強みとして、昆虫養殖の技術を住民が獲得することが課題解決に有効であると考えられます。

JICA が ISAPH および食用昆虫科学研究会と協働し、昆虫養殖の技術をラオス農村部の住民に移転されることを目指し、昆虫養殖が広く普及・振興される活動を行っていきます。

### 【概要】

■事業名：草の根技術協力事業

『農村部の食糧事情向上を目指した昆虫養殖技術普及事業』

■対象地：ラオス国 カムアン県サイブートン郡

■事業実施団体：特定非営利活動法人 ISAPH（共同提案：食用昆虫科学研究会）

■相手国実施機関：カムアン県保健局、カムアン県サイブートン郡保健局

■事業期間：2020 年 12 月 25 日～2023 年 12 月 22 日

■問い合わせ先

【本件に関する問い合わせ先】

JICA 九州 市民参加協力課 森川

TEL 093-671-8312

e-mail : Morikawa.Daiki@jica.go.jp

1) 草の根技術協力事業とは、国際協力の意志のある日本の NGO/CSO、地方自治体、大学、民間企業等の団体が、これまでの活動を通じて蓄積した知見や経験に基づいて提案する国際協力活動を、JICA が提案団体に業務委託して JICA と団体の協力関係のもとに実施する共同事業です。参考 URL : <https://www.jica.go.jp/partner/kusanone/index.html>